



池田記念美術館

2021年度 美術展覧会



①雨宮一正 収蔵品展

■ 4月24日(土)～5月23日(日)

1934年生まれで東京在住の彫刻家、雨宮一正氏の木彫作品とともに、木版画と水彩画を展示。木彫は素朴さとユーモアが共存し、水彩画は79、83、85年にハンガリーやシベリアを旅した際のスケッチです。

②日本雑誌協会スポーツ報道写真展

平成アスリート戦記

—平成時代のオリンピック大会 日本選手 感動の記録—

■ 5月29日(土)～7月12日(月)

東京2020オリンピック・パラリンピック大会が目前に迫る中、平成時代に開催された五輪大会(1992年のバルセロナ大会から2018年の平昌冬季大会まで)で活躍した日本人アスリートの姿を、日本雑誌協会派遣のカメラマンが追った迫真の報道写真展です。

③高屋肖哲・千児観音チャリティー美術展

■ 6月4日(金)～7月5日(月)

医療法人萌気会と共同で、コロナ禍により経済的被害を受ける母と子への支援を目的に開催。高屋肖哲の「千児観音図」は無数の子どもたちに慈愛の眼差しを向ける観音が描かれ、コロナ禍で苦しむ人々に力を与えてくれます。萌気会前理事長の黒岩卓夫氏が所蔵する高屋肖哲未発表作品も展示します。

④第22回 八海山夢展

■ 7月17日(土)～8月30日(月)

魚沼の美術愛好家を中心に、絵画・書道・写真・水石・工芸の5部門で約100点の作品を展示します。地元での美術振興を目的に創設し、今年で22回目の開催。

⑤[同時開催] 第4回 八海山ジュニア展

■ 7月17日(土)～8月30日(月)

「八海山夢展」の期間に合わせて開催。令和2年度新潟県ジュニア美術展覧会と新潟県中越教育美術展に入賞した近隣地域の児童生徒の作品を展示します。

⑥第5回 八色の森の美術展 + 八色の森の子ども絵画展 2021

■ 9月4日(土)～10月24日(日)

現代美術の世界で活躍する作家30人以上が出品し、

地元の児童作品と共同展示する画期的な試みと、多彩な関連イベントによって、各方面から高く評価されている美術展です。5年連続の開催となり、今年のテーマは「語りかけるいろ、目覚めるかたち」。地域と連携し、美術館の未来像を提示します。

⑦二科 新潟支部展

■ 10月30日(土)～11月23日(火・祝)

美術団体・二科会の新潟支部会員の作品(絵画・彫刻)を展示。1914年創立以来、視野を一方に限定せず、新しい表現価値の創造に向かって不断に追究し、会員の創作の自由を擁護してきた二科会。会員展でも様々な個性的な作品を鑑賞できます。現在、新潟支部の会員は絵画と彫刻合わせて70名ほどです。

⑧動物画家・藪内正幸 絵本の世界

■ 11月27日(土)～12月23日(木)

『ガンバの冒険シリーズ』の挿絵や、福音館書店『かがくのともシリーズ』など現在でも根強い人気がある動物画家、藪内正幸(1940～2000)の原画展。山梨県の藪内正幸絵本美術展の所蔵作品を借用・展示します。浦佐認定こども園の開園10周年記念事業。

⑨池田記念美術館所蔵品展

■ 11月27日(土)～12月23日(木)

当館の所蔵作品を、趣向を変えて紹介します。普段展示していないスポーツ関係資料や絵画コレクションなど、当館の多彩な魅力をアピールします。

⑩第66回 南魚沼都市児童生徒美術展

■ 1月6日(木)～1月18日(火)

南魚沼市及び湯沢町の子どもたちの作品約500点を展示。子どもたちの創作意欲が「いきいき」と伝わってくる展覧会です。作品解説会も開催。家族で来館していただけるよう期間中は入館無料となります。

⑪魚沼ベストショット展 Part XI

■ 1月22日(土)～3月6日(日)

県内外から50人を超える出展者と特別参加の高校生が、魚沼地域の変化に富んだ美しい自然・風景や風習などを撮影した自慢のベストショットを出展する展覧会です。今回で11回目を迎え、魚沼からのメッセージをより広く発信することを目指します。

⑫秋元貴美子 写真展—都市と自然のエレメンツ—

■ 1月22日(土)～3月6日(日)

写真家で日大芸術学部写真学科教授の秋元貴美子氏は、独特の視点で都市風景や自然のエレメンツ(地水火風空)に着目し、個性豊かな写真世界を表現。近年の集大成となる写真展です。秋元氏は高校生の写真教育と写真活動について研究しながら、高校写真のサポーターとしても活動しています。

⑬佐藤守弘・高橋正則 二人展

■ 3月12日(土)～4月24日(日)

魚沼市の絵画団体・白象会の佐藤守弘氏と高橋正則氏の二人展。両氏は示現会の会員でもあり、長年切磋琢磨しながら魚沼市の絵画界において中心的役割を担ってきました。越後三山や魚野川など、魚沼の自然を描いた風景画を中心に展示します。

⑭【特別展示】第5回 錯覚展

■ 3月12日(土)～5月8日(日)

ベスト錯覚コンテスト世界大会で4度の優勝実績を持つ錯視研究の第一人者、明治大学研究特別教授の杉原厚吉先生が制作した「だまし絵立体」「不可能モーション立体」など、実際とは違うように見えてしまう作品を展示。また、3月に開催予定の八海山麓スキー場ホワイトカーニバルでは、杉原先生が設計する「雪の錯覚すべり台」を来場者に公開します。

《常設展示》

①小泉八雲文学資料室

■ 小泉八雲に関する国内屈指のコレクション。

②スポーツ文化展示室

■ 野球、相撲、オリンピックなどの資料を展示。

③スポーツカードの展示

■ 「ベースボールカード」などを随時、展示。

④ラガーザ玉、會津八一、良寛など収蔵作品の展示

池田記念美術館の年間パスポート(個人)!

料金3,000円で発行日から1年間有効。有効期間中に開催される全ての展覧会と常設展が観覧できます。特典として、①入館招待券3枚、②いけびCaféで利用できるドリンクチケット2枚をプレゼントいたします。

池田記念美術館の年間パスポート(法人)!

一口10,000円で発行日から1年間有効。有効期間中に開催される全ての展覧会と常設展が観覧できます(5名様まで)。特典として、①入館招待券10枚、②企画展ごとに観覧券4枚、③いけびCaféで利用できるドリンクチケット10枚をプレゼント。

《援助事業》

池田記念美術館を運営する公益財団法人池田記念スポーツ文化財団では、新潟県におけるスポーツと文化の発展に寄与することを目的として、以下の補助金対象事業を公募いたします。

①環日本海沿岸諸国とのスポーツ国際交流援助事業

【援助内容】 公募により、環日本海沿岸諸国とのスポーツ国際交流事業に対して援助します(1件10万円、2件以内)。

【応募締切】 2021年9月30日

②国際的なスポーツの学術的研究に対する援助事業

【援助内容】 公募により、国際的なスポーツの学術的研究に対して援助します(1件10万円)。

【応募】 今年度は募集いたしません。

【応募方法】 当財団のホームページから応募書類をダウンロードし、必要事項を記入して提出。郵送またはメールで受け付けます。 <http://www.ikedart.jp>

【選考方法】 選考委員会の審議を経て決定します。選考にあたっては、必要に応じてヒヤリングを行う場合があります。

《イベント情報》

①一箱古本市@池田記念美術館<初夏篇>

■ 夏季予定
美術館のエントランスホールを舞台に、古本出展者が一人一箱のワイン箱に書店名をつけて、店主選りすぐりの古本を販売。たくさんのお客が集まります。

②一箱古本市@池田記念美術館<厳冬篇>

■ 2022年1月予定
冬景色を楽しみながら、お気に入りの本を探そう!

③真冬のクラフトマーケット「雪見展」

■ 2022年1月予定(2日間開催)
毎回2,000人以上の来館者で賑わう新年の一大イベントです。21年はコロナ禍で中止となりましたが、今年で7回目の開催となります。手仕事の展示販売、ワークショップ、リラクゼーションコーナー、美味しい食品コーナーなど多彩なショップが大集合します。どんなショップが登場するか!? 楽しみにお待ちください。両日とも入館無料です。

BBM スポーツカードショー

①BBM スポーツカードショー 2021 春の陣

■ 2021年4月10日(土)

②BBM スポーツカードショー 2021 秋の陣

■ 2021年11月中旬予定

③BBM スポーツカードショー 2022 冬の陣

■ 2022年1月中旬予定